



あかねの会が彼らの人生の“同行者”であり続ける為に

理事長 吉田 直己

去る2月15日に大泉就労支援室、第一さつき寮を利用する鈴木 正志さんが脳出血により急逝されました。持病を抱えていたとはいえ、数日前は講話で元気に手を挙げて笑顔で答えたり、前日には大泉就労支援室のみんなとポッチャを楽しんだりしていました。あまりにも突然の出来事で驚きと共にショックを受けました。同時に「あかねの会にいて心の底から楽しみ、最後まで自分らしく生きていけたか？」と自問しました。それを本人に聞くことはできませんが、あかねの会は彼らの人生の“同行者”であり続けたいと思いました。

彼らの長い人生を一個人が寄り添うには、一個人には寿命があるので難しいです。ですが、あかねの会として、彼らの人生に寄り添うことは、少なくとも寿命の話に限れば、一個人よりは可能でしょう。また、あかねの会を通じて、自分の居場所を見つけてもらう、自分らしく生きる為に、あかねの会がその傍にいつでもいるよ、という存在になることも可能でしょう。人生の“同行者”とはそのような存在です。

“同行者”になるためには一人ひとりの職員、法人全体が彼らの人生の“同行者”であることを強く意識した、一貫性のある支援が欠かせません。職員同士の考え方、価値観に相違もあると思います。そのような時には「障がい者を納税者に」という理念に立ち返り支援するように心がけています。あかねの会の理念の「障がい者を納税者に」とは、彼らが社会・地域に繋がりその一員として当たり前で過ごし、社会のルールを守り、障がいのあるなしに関係なく社会に参加することです。その上で最期まで自分らしく生き、人生の節目も含め、あかねの会と共に過ごす。人生の“同行者”にはそんな想いを込めています。

人生の“同行者”として、彼らの人生に寄り添えるよう、日中サービス支援型グループホーム設置の目処をたてたいと考えています。本当の意味での「終の住処」になれるよう、体制・土地・建物それぞれの課題を一つずつ洗い出すことに令和7年度は力を入れていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

新入職員紹介

生活支援部

生活介護事業所みのり

M Y さん

好きな食べ物：えんがわ

趣味：絵を描くこと



★コミュニケーションを取るのが上手く、一人ひとりに寄り添い支援してくれています。

余暇支援部

K T さん

好きな食べ物：カレー(辛口だと
なおい)

趣味：堤防釣り



★余暇支援部の水泳クラブコーチとして20年近くあかねに関わってくれています。いつもニコニコ、優しく穏やかな人柄ですが、バタフライを泳がせたら右に出る人はいません！

各部だより

関口農園で芋ほり体験〔かがやき・大泉就労支援室〕

就労支援部

かがやきでは、高松にある関口農園様から果物を仕入れ、ドライフルーツを作っています。その果物を持ってきて頂いた時に、「今年はサツマイモを植えたので、一緒に芋ほりをしませんか」という話があり、12月24日に畑に伺うことになりました。畑では土を掘りサツマイモが顔を出すたびに、「芋が出てきた」「これは大きい」と歓声があがり、みんな夢中になって芋を掘っていました。

掘った芋は、家に持ち帰るだけでなく、あかねっこ弁当で大学芋にし、弁当のおかずにもなりました。

